

平成 22 年 9 月 24 日
日本学術会議 科学者委員会
学術の大型研究計画分科会
委員長 岩澤 康裕

学術の大型研究計画に関する調査（平成 22 年度）

—大型研究計画マスタープランの改訂—

1. 本調査の目的

日本学術会議では、科学者委員会の下に設置された「学術の大型研究計画検討分科会」より提言「学術の大型施設計画・大規模研究計画—企画・推進策の在り方とマスタープラン策定について—」（平成 22 年 3 月 17 日）を発出いたしました。

策定した大型研究計画のマスタープランは固定的なものではなく、国際情勢、学術環境、社会的要請などの俯瞰的な視点、各分野の研究者コミュニティにおける議論・検討の進展に鑑みて、継続的に評価・検討し、改定を行う必要があります。

そこで、この度、大型研究計画マスタープランの改訂にあたり、本提言に記載された大型研究計画マスタープラン 43 計画の修正・アップデートを目的としたアンケート調査を実施いたします（マスタープラン 43 計画については、<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t90-2-2.pdf> をご覧下さい）。

変更・修正が無い場合も含めて、ご計画について下記のウェブよりご回答をお願いいたします（新規に募集される計画との混乱を防ぐため、43 計画専用のウェブとなっております）。

2. 調査内容の取り扱い等について

調査結果は、国際対応も含め今後の我が国の大型研究推進の方策・体制等を検討する基礎資料として利用するものであり、予算への直接の反映等を意図するものではありません。

ただし、今後、科学・技術政策の検討や国際的な場面（G8 関係等）等において、大型研究計画に関する情報交換や議論が行われる可能性もあり、優劣等の判断につながらないように十分に配慮した上で、情報提供を行う可能性があります。

なお、本調査結果については、個票を直接公開することはありません。改訂版マスタープランは、平成 23 年 10 月初めの日本学術会議総会までのなるべく早い時期にまとめる予定です。

3. 調査対象

カテゴリーA：大型施設計画について

調査対象は、総額が数十億円以上の施設の建設（装置、設備等を含む。運営費は除く）を行う大型研究施設の計画。

カテゴリーB：大規模研究計画（大型施設計画は除く）について

調査対象は、科学研究費補助金等では実施が困難であり、個別研究プロジェクト

の枠を超えた大分野の根幹となる、総額が数十億円以上（設備、ネットワーク構築、データ集積、運営費等の経費）の大型研究計画。

4. 回答期間

平成 22 年 9 月 24 日(金)～平成 22 年 12 月 22 日(水)

5. 回答方法

カテゴリーAは、URL <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0016.html>

カテゴリーBは、URL <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0015.html>

よりご回答下さい。